

4 ▶ あいさつで人権尊重のまちづくり?!



話の素材 (学習資料)

①

地域のみなさんも、
子どもへの声かけを
お願いします。

あいさつ運動
〇〇地区
〇〇学校PTA

②

〇〇ちゃん、おかえり。
先週の学習発表会、
がんばってたね。

③

おかえり。

ただいま。...

チリチリ

④

不審者に間違
われた?...

あいさつ運動に協力
しようと思っただけ
なのになあ...





学習のポイント

人権尊重の社会づくりをすすめるうえで、地域において豊かな人間関係を構築することは大変重要です。特に、自分も相手も大切にできるコミュニケーションである「あいさつ（運動）」は、人権尊重の社会づくりの第一歩として、多くの地域で、学校・PTA・市町村・関係団体等が連携して取り組んでいます。

しかし、最近では「不審者の問題」など保護者が不安を抱く事件が起こっています。また、「いじめ」「児童虐待」など、子ども同士、親子関係に関わる問題も起こっています。さらに、子ども自身の「自己肯定感」の低さも指摘されています。あなたのまちではどうでしょうか。

地域で取り組まれている「あいさつ」を素材として、皆さんが「あいさつ」に期待していることを話し合ってみてください。①**子どもの安心安全を守ること**、②**親子や地域の方とのより良い人間関係を築くこと**、③**子ども自身が自分は大切にされていてかけがえのない存在であると感じること**など保護者の願いを明らかにし、その実現のために現在の取組の現状を振り返り課題を出し合うことで、PTAとして何ができるか話し合ってみましょう。

この学習を通して、お互いが大切にされていると感じられる人権感覚に満ちあふれたまちづくりが一層推進されることを期待しています。



すすめ方【90分】

1. 4人程度でグループをつくります。
2. 「話の素材」を読んで、感想を話し合しましょう。
→②及び③の場面において、子どもの対応が違ったのはどうしてか、自分自身のエピソード等を織り交ぜながら話し合うのもいいでしょう。
* 「話の素材」を **資料3** に変更して話し合いをすることもできます。
3. みなさんが「あいさつ」「声かけ」に期待していることを話し合い発表しましょう。
→発表された内容を人間関係、安心安全、自己肯定感、自尊感情といった「人権」のキーワードをもとにまとめることで「あいさつ」に期待するものと「人権」との関わりを参加者に捉えやすくするといいいでしょう。
* **資料1** **資料2** を使って話し合うこともできます。
4. PTA活動又は地域で取り組んでいる「あいさつ運動」について、問題点や改善点を出し合い、地域やPTAでできることを話し合しましょう。
→すすめ方3のキーワードを意識しながら、問題点や改善点を話し合い、PTAや家庭でできることを話し合しましょう。
5. グループごとに話し合いで出た意見や気づいたことについて代表者が発表します。
6. ファシリテーターが、グループ発表や「学習のポイント」をもとに、感想を言って終わります。

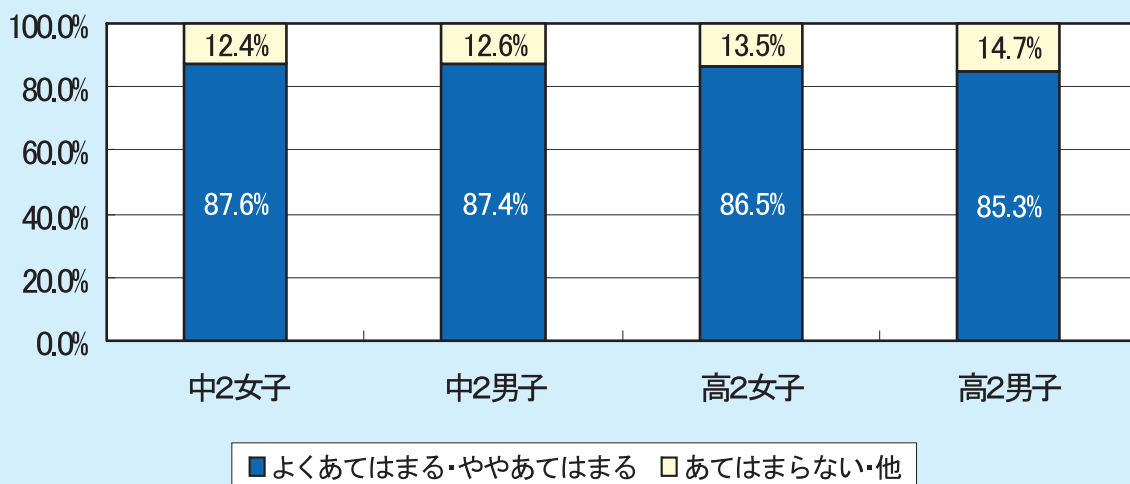


資料

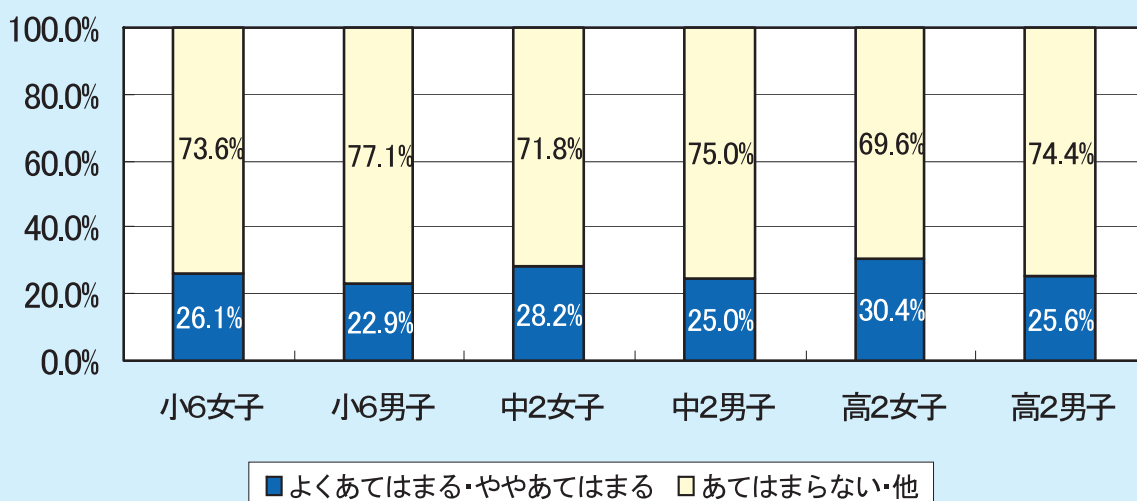
資料1 子どもの自己肯定感に関わる意識について

平成14年度 文部科学省「児童生徒の心の健康と生活習慣に関する意識調査」より

私は自分に価値がないか他人より劣っていると思う

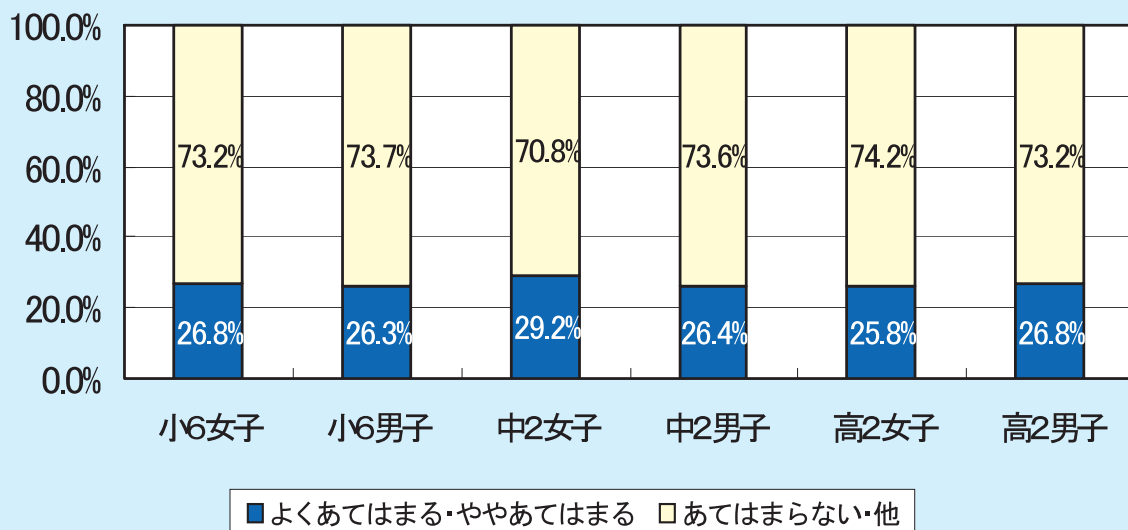


私なんかいないほうがいいと思う

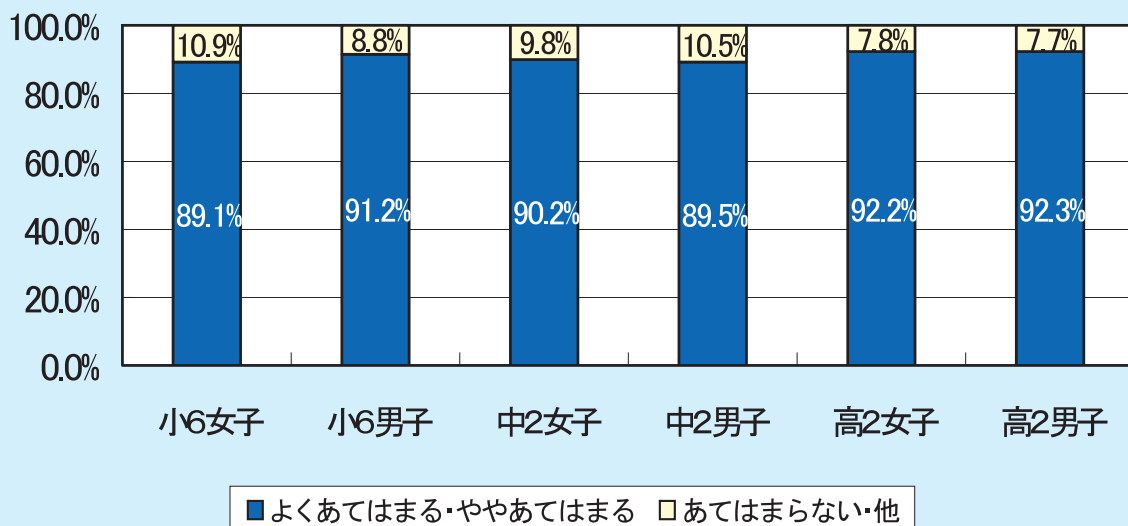




誰も私を大切にしてくれないと思う



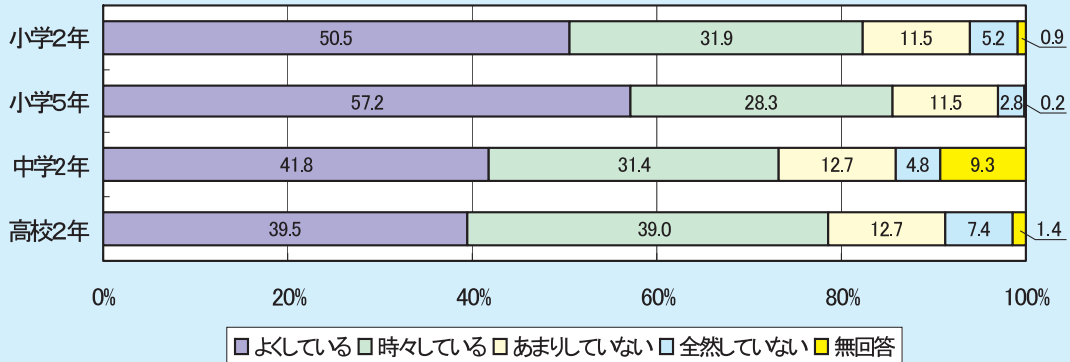
「やればできる」と思う



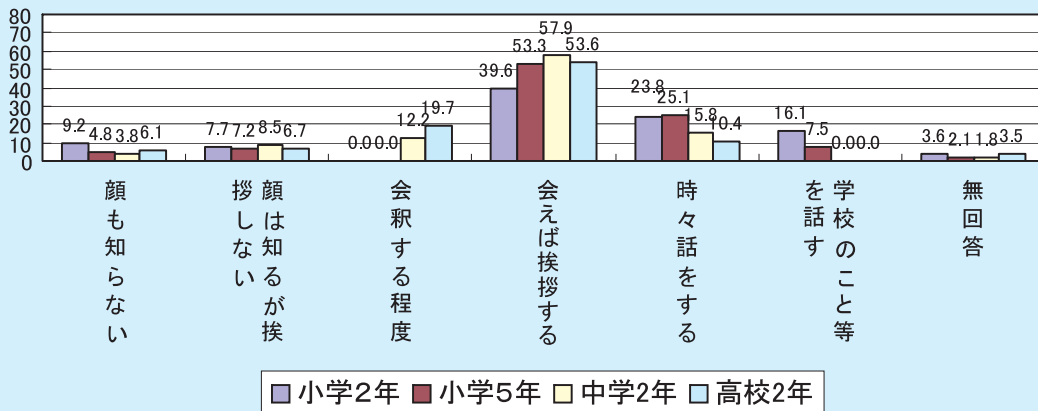
資料2 地域でのあいさつ・連帯感等に関する意識調査

平成17年度鳥取県青少年育成意識調査結果報告書「青少年のこころと姿」より

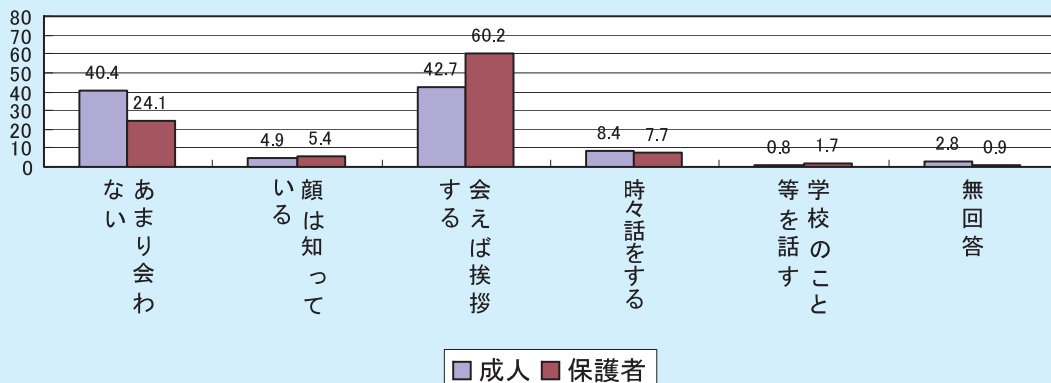
どの程度していますか「近所の人や知った人に挨拶する」



近所の大人とどの程度親しいですか



あなたは近所の中学生・高校生とどんなつきあいをしていますか





資料3 話の素材 (学習資料)

ただいま。おじちゃん。
劇や合唱、観に来てく
れたの。
ありがとう。



〇〇ちゃん、おかえり。
先週の学習発表会、
がんばってたね。

Aまちの取組

私たちのまちでは、地域をあげて「あいさつ運動」に取り組んでいます。当番の日だけでなく、誰もが普段から気軽に子どもたちに「声かけ」をします。中学生や高校生にも進んで声をかけます。

あいさつ運動実施中
〇〇地区
〇〇学校PTA



不審者に間違われる心
配もなく、お互いに安
心だ。



Bまちの取組

私たちのまちでは、子どもを狙った犯罪が各地で発生していることから、おやみに子どもへの「声かけ」をしないことにしています。特に、子どもだけのときに「声かけ」をしてはいけません。また、子どもが不安がっているのを見たときには、通報することになっています。